

研修 だより

糸島市立一貴山小学校
平成27年7月29日(水)
学力アップ部

きらり学級の子どもたち、尾形先生ありがとうございました！！

【単元名】いっしょにあそぼう

【本時の目標】

◎遊び方や遊びのルールを考えて、友だちと一緒に遊びを楽しめるようになる。

○一緒に遊んで感じたことや思ったことを伝える力をつける。

○力を合わせて準備や後片付けに取り組む力をつける。

【個別目標】

A児 相手の方を見て接することができる。

B児 遊び方やルールの説明をはっきり言うことができる。

C児 説明や指示を聞いて行動することができる。

【本時の展開】

1 「いっしょにあそぼう」の計画を思い起こし、本時のめあてをつかむ。

○「単元の流れ図」で今日は1の1のみんなと一緒に遊ぶ練習をすることを確かめる。

2 今日の活動の見通しをもち、自分がかんばることをつかむ。

○活動内容と順番を確かめる。

○個人のめあてを掲示する。

めあて

みんなといっしょにあそぶれんしゅうをしよう



シンプル・クリアー・ビジュアルの視点で今日の流れを説明されました。

3 遊び方やルールにしたがって一緒に遊ぶ練習をする。

1 「ルールでじゃんけん」をする。

2 トランポリンをする

3 紙コップでタワーを作る。

○3つの遊びやそれぞれについて、遊び方やルールを確かめる。

○安全面で気を付けることを確かめる。

○個人のめあてを活動中に意識させる。

A児 しっかり見よう。

B児 はっきり言おう。

C児 よく聞こう。



ルールを確かめ合います。

4 一緒に遊ぶ練習をした感想を発表する。

○顔の表情図で自分の気持ちをとらえさせたり、大小の花丸カードを選択させたりして黑板にはらせる。



いつも子どもたちを温かく見守っていらっしゃる尾形先生。

(尾形先生の自評)

本時の目標について

- ・目標①はたくさん遊ぶことができた。この遊びのきっかけから、1の1の子どもと仲よく遊ぶことができ、関わりがより深いものになったり、太いパイプで結ばれた関係になったりすることを願う。
- ・目標②は達成度は低い。
- ・目標③は6割程度できた。ルールじゃんけんで少し準備することに時間がかかった。



みんなで楽しむために、感じたことを出し合います。

【協議会で話し合ったこと】

- 3人の運動能力が高い。また、安心して活動できる場が確保されていた。
- 尾形先生の温かい眼差しが子ども達の自信となり、力一杯活動できている。
- 3人一人ひとりのめあてや、活動の順番が視覚的に捉えられることができた。(シンプル・クリアー・ビジュアルの視点)
- おにごっここのルールは、より明確にする必要があった。
- ゲームが終わるごとに振り返りがあったほうがよかった。
- 社会性のめあても必要であった。(順番を守る等)
- バランスボールの上に乗るといった体のバランス感覚を養う遊びも試してみてもは?
- 今後は各学級が交流できると良い。



個人のめあてに振り返りをさせます。視覚的に捉えられるようにします。

【今岡千明先生の主なご指導・ご助言】

- 表情・ジェスチャーもコミュニケーションのひとつ。尾形先生の一人ひとりを大切にされる表情がとても良かった。
- 「〇〇しましょう」というような肯定的な話し方が子どもをやる気にさせる。
- 自立活動の授業で、テーマや目的をもって取り組ませることが大切である。また、人との関わりに主眼を置いてあることが良かった。
- その場面に戻って振り返らせることが大切である。遊びが終わるごとに振り返らせてもよかった。「こんなときにどうしたらよいですか」と問いかけることで、思考を促すことができる。

【資料より】

☆できるだけ失敗させないようにスモールステップを大切にしていけることが大切である。

☆ICFの考え：障害を多面的に見る。できることに視点をあてることを大切にいく。

尾形先生お疲れ様でした☆

子どもたちに温かい眼差しで接される尾形先生。授業を見せていただいて特別支援教育の視点とともに「カウンセリングマインド」も大事にしてあることが伝わってきました。一人ひとりを大切にされ、的確なタイミングに的確な言葉かけをされていました。尾形先生の表情を見るだけで、子ども達は、やる気もでるし、自信につながっています。また、一人に対する支援はみんなの支援につながるということを学ばせていただきました。校長先生のお話の中に「どの学年、どの授業でも特別支援の視点を」とありました。具体的なことを、短い言葉で的確にいうことを日々の授業から取り組んでいきたいです。尾形先生ありがとうございました。